

第1学年1組 学級活動案

平成22年11月10日（水）第3校時

- 1 題材 ともだちともっとなかよくなるろう
～構成的グループ・エンカウンター「かんがえればつかいみちいろいろ」～

2 題材設定の理由

学校は、児童の発達段階に応じて成長していくことを援助するところであり、グループ間の人間関係を通して、行動の変容やパーソナリティの成長を図っていくところである。学級集団を生かした人間関係作りは、学級経営においてとても大切なことである。

今回は2学期がスタートし、新しいグループ編成を行って間もない頃にあたり、よりよい人間関係作りの機会ととらえた。自分の思いを伝え合う活動を通して、一人一人を大切に、仲よく交流するようにしたいと考え、本題材を設定した。

3 児童について

29名が8グループの生活班に分かれている。

2学期に入り、児童は初めてする活動も多い中、少しずつ学校生活に慣れてきている。素直で明るい児童が多い。入学当初、友人関係の広がりがない児童が数名いたが少しずつ仲良く遊ぶ様子も見られるようになってきた。

1学期から見ると、(中略)

本学級では、自分を好きになり友達と仲よくなるというめあてで、パーソナルポートフォリオを綴っている。小学校に入って初めて経験した貴重な体験の記録や初めて書いた自分の名前、2学期のめあてなど様々なものが入っている。「おひさまファイル」という名前は班で話し合っ出て出し合い、さらにクラスで話し合って決めた。このファイルは児童同士の交流にも使っている。

4 指導について

これまで、男女仲よくクラスが一つになれるよう、なるべく全員で遊ぶ時間を作るようにしてきた。2学期の座席替えは、友人関係の広がりをねらって、「今までに同じ班になったことがない人やあまり遊んだことがない人と仲よくなるろう。」と呼びかけた。そして、これまでかかわりが少なかった子同士を、なるべく同じ生活班にするようにした。

エンカウンターは、入学当初から、教師と児童のリレーションづくりをねらって、「握手でさようなら」を行った。マラソン大会の練習の時期に、児童同士のリレーションの充実をねらって、「どきどきをかんじよう」という題材を行っている。

今回、導入のウォーミングアップでは身体接触に抵抗の少ない時期でもあり、「体ほぐし運動」を取り入れる。また、低学年の特徴から短いエクササイズを繰り返し用いることが効果的である。そこで、前時までに、たとえば「牛乳瓶の利用法」などの数分間の「ブレインストーミング」を何回か行うようにした。考え、自己表現し、分かち合ってみるシェアリングも大事にし、パターンを変えて提示したい。

低学年の児童は集団としてとらえるよりも個人中心で教師との関係でとらえる方が適切である。しかし、上記のエクササイズを生かして、1年生なりに「クラスのともだちともっとなかよくなるために」はどうしたらよいかを考える機会を設けたいと考え、本時では、「ブレインストーミング」をもう一度取り入れる。

11月は、様々な行事を通して互いのよさに気づいたり、個性を発揮する時期ととらえることができる。これらエクササイズを通して自己肯定と他者受容、相手への思いやりの増加をねらいたい。

5 本時の目標

- ・児童間の交流を深める。
- ・自分の思いつきや考えを否定されることなく自由に発言する体験活動を通して、自分やグループのメンバーに対して肯定的な気持ちを持つ。

6 準備物

アイデアゲーム用記録用紙

「クラスのともしちともっとなかよくなるために」記録用紙

エクササイズ後の振り返り用紙

7 本時の展開

活動の流れ	支援（・）と評価（☆）
<p>○ 本時の活動のめあてをつかむ。 クラスのともしちともっとなかよくなるう （インストラクション）</p> <p>○ グループ毎に「体ほぐしの運動」をする。 （ウォーミングアップ）</p> <p>○ 数分間アイデアゲームをする。 ・ ルールの説明をする。 ・ 同じグループでアイデアを出し合いどのグループがたくさんアイデアを出せるか競う。 （エクササイズ1）</p> <p>○ エクササイズを通して感じたことを何人かの児童が全体に発表する。 （シェアリング）</p> <p>○ 「クラスのともしちともっとなかよくなる」ためにはどうしたらよいかをグループ内でできるだけたくさん出し合いベスト1を選ぶ。 （エクササイズ2）</p> <p>○ 今日の学習の振り返りをする。</p> <p>○ 教師のまとめを聞く。</p>	<p>・ 学習のひとつなので、ふざけたりいいかげんにやったり、人を傷つけるような言葉や行動はしないように伝えておく。 ☆これから学習することに真剣に取り組もうとしているか。（態度）</p> <p>☆ 身体接触が自然に行われてグループの雰囲気は親密なものになったか。（観察） ・ 感じたことを班の児童に伝え広げる。</p> <p>・ 教師がはじめに「片方の靴下の利用法」を示す。 ・ どの児童もアイデアが出せるよう机間巡視をし声をかける。 ☆グループのメンバーに対して肯定的な気持ちを持つことができたか。（観察） ・ 自由に思いつく考えをたくさん出し合うことが大切であり、出てきた考えや意見について、良い悪いは絶対に言うてはいけないことを伝えておく。</p> <p>・ 何人かの児童に感想を聞き全体に広げる。</p> <p>☆ 学級がお互いに仲よく生活できる場にするために、何をしたらいいのかを考えようとしているか。（ワークシート）</p> <p>・ 今日のエンカウンターをきっかけに今まで以上に仲のよいクラスを作っていってほしいという願いを伝える。</p>

8 授業の観点

- ・ 友達と仲よくなるため学級の基盤作りとして、このエクササイズを選んだことは適切であったか。